

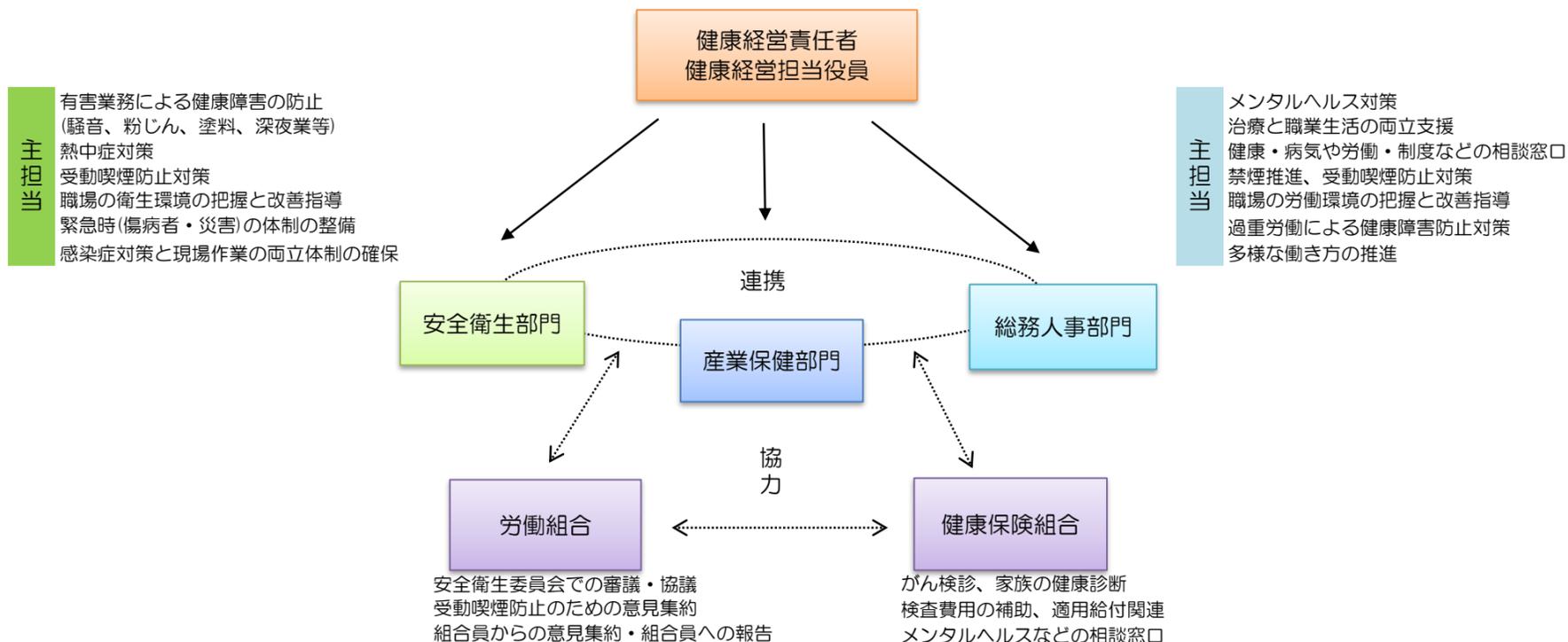
# IHインフラシステム「心と体の健康づくり計画」(2021~2023)

## 1. 基本方針

- ・従業員の心身の健康は、従業員とその家族の幸福な生活、活気のある職場のために重要な課題である。
- ・従業員一人ひとりは、病気の有無に関わらず、自らの能力を最大限に発揮できるよう、心身の健康管理に主体的に取り組む。
- ・会社トップの積極的関与のもと、職場と安全衛生部門、総務人事部門、産業保健部門が強く連携し、健康経営を推進する。

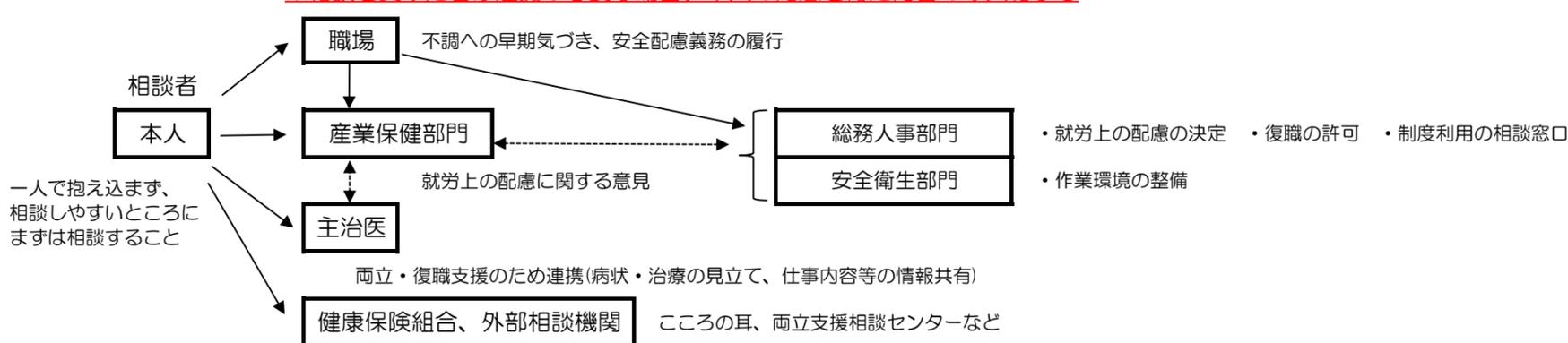
## 2. 推進体制

- ・社長より、IHインフラシステム健康経営宣言を表明する。
- ・健康経営担当役員のもと、安全衛生部門、総務人事部門、産業保健部門が計画を策定、実施する。
- ・労働組合や健康保険組合とも連携し、ニーズの把握や、都度計画の見直しを行なう。



## 3. 健康相談体制

※相談を受けた者は連携が必要な場合、本人の同意を得た内容のみ共有する



## 4. 健康経営の背景や課題意識

新たな働き方や環境の変化によりメンタルヘルス不調になる従業員がいることや、持病の悪化等で就業上の制限が必要となる従業員がいることを認識している。安全に活躍できる基盤づくりとして心と体の健康を確保することとともに、組織的に相談体制構築や職場環境改善に取り組むことが、企業活動の継続と成長に不可欠と考えている。

- ＜健康経営全体の効果を把握する指標＞
- ・組織の活性化向上
  - ・プレゼンティーズム(疾病による就業の制限)の低減
  - ・アブセンティーズム(疾病による休業)の低減
  - ・ワークエンゲージメントの向上

## 5. 健康課題と各種取組のつながり

